

コード	40207
作成年度	23年度

基本事業評価表

基本事業名称	林業の環境整備
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名
主管課名	農林課	

基本事業の目的

森林組合の強化や林業構造改善を図りながら林業後継者の育成に努めるとともに計画的な森林保育、林道整備を行うことにより林業の環境整備をすることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	林道密度	成果指標名称 2	林業後継者数
成果指標の積算根拠	林道延長(m)÷民有林面積(ha)	成果指標の積算根拠	林業従事者÷目標林業従事者数
目標達成年度	平成23年度	目標達成年度	平成23年度
目標達成数値	8.5m/ha	目標達成数値	14人

年		度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	単位	m/ha	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
	実績 B		m/ha	8.2	8.2	8.2	8.3	
	達成率 B/A		%	96.5	96.5	96.5	96.6	
成果指標 2	目標 A	単位	人	10	10	14	14	14
	実績 B		人	8	8	14	13	
	達成率 B/A		%	80.0	80.0	100.0	92.9	

1次評価	現状	林道の開設については、保育作業や主伐のため利用率がある箇所を中心に開設の計画をしている。また、林業従事者の確保については、国県の補助を受け少人数ではあるが確保しているが、約半数については、すでに50代と高齢化しているのが現状である。
	課題	林道の開設にあたり不在者が多く、地元住民や地権者の同意をもとめる必要がある。また、林業従事者を確保するためには、林業技術を取得するのに数年を要するうえ、危険であることを加味しても、緊急な雇用を推進しなければならない。
	改善	緊急な雇用対策等を活用し、林業技術の取得補助、社会保険等の助成、林業機械の導入による労務の軽減を図る。新規雇用を行い、次期担い手を育成を図る。

2次評価	林道の開設、既存施設の維持管理においては計画的な整備方針により行っていくこと。また、若者の担い手・後継者の育成は、林業が生業として成立することが前提であり難しいが、各種補助事業等による支援策など検討していくこと。
------	--

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。